

命を感しながら山道を歩いていると  
馬を引いた男の人が2人一つ一つしながら  
声をかけてきました。



ノミヤが牛山の女を訪ねて歩いている話を  
聞いたその男は「つしらの暮らしも見てみるといいよ。」  
と案内してくれました。